

# 大分県姫島村におけるグリーンスローモビリティの 活用による観光振興や地域活性化について



# 姫島の紹介

## 「姫島（ひめしま）」

大分県国東半島の北、瀬戸内海の西側に位置する離島

- ・古事記の女島（ひめしま）
- ・日本書紀の比売語曾（ひめこそ）の神の島

住所：大分県東国東郡姫島村  
面積：6.98平方キロメートル  
人口：2,000人（897世帯）  
観光客：約35,000人（H27年度）



# 姫島の特産品

7つの海底火山で形成された島、瀬戸内の海の幸に恵まれた美味しい車エビ



姫島車エビしゃぶしゃぶコース

天然車エビの海鮮丼と味噌汁セット



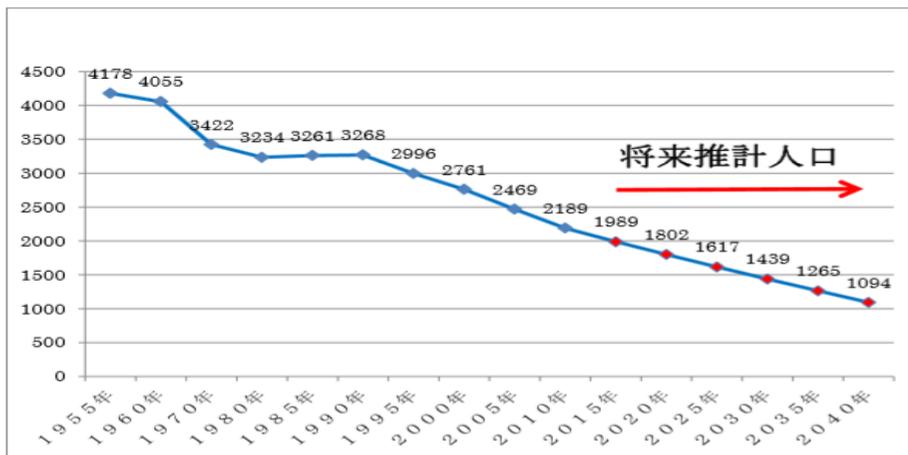
# 姫島の現状と課題

## ■ 現状と課題

少子高齢化、経済のグローバル化、地球温暖化に対し **「課題解決モデル地域」** を目指す。

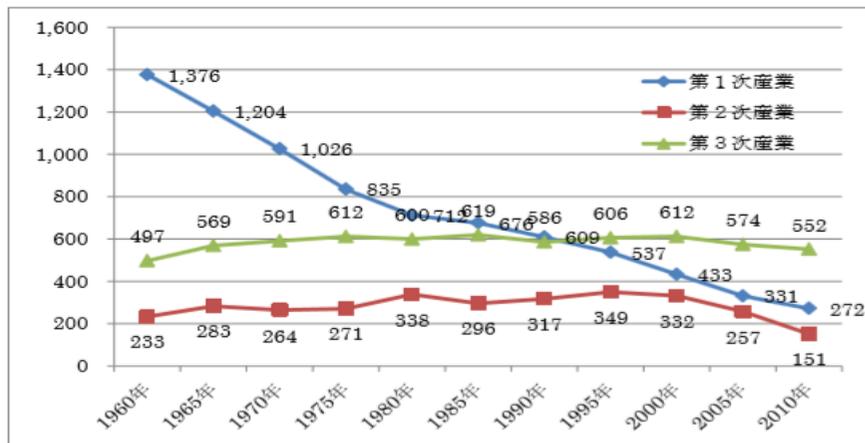
### 1. 社会：少子高齢化による人口減少

(1) 人口の推移と将来推計人口

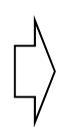


### 2. 経済：グローバル化による漁業の衰退

(4) 産業別就業者の推移



### 3. 環境：地球温暖化に伴う海面上昇



# 姫島エコツーリズム推進協議会の取組み

## ■ 設立趣旨

姫島エコツーリズム推進協議会は、美しい自然環境を守り、島民がいつまでも元気で豊かな生活を送るため地域コンセプトの『ひめしまモデル』を確立し、世界各地に広めることで、未来の子供たちに豊かな社会を繋いでいく。

## ■ 事業内容

地域課題を解決するため、環境に優しい電気自動車を活用し、持続可能な事業として展開する。(ソーシャル・ビジネス)

### ① 社会

高齢者のQuality of Life (QOL) 向上

### ② 経済

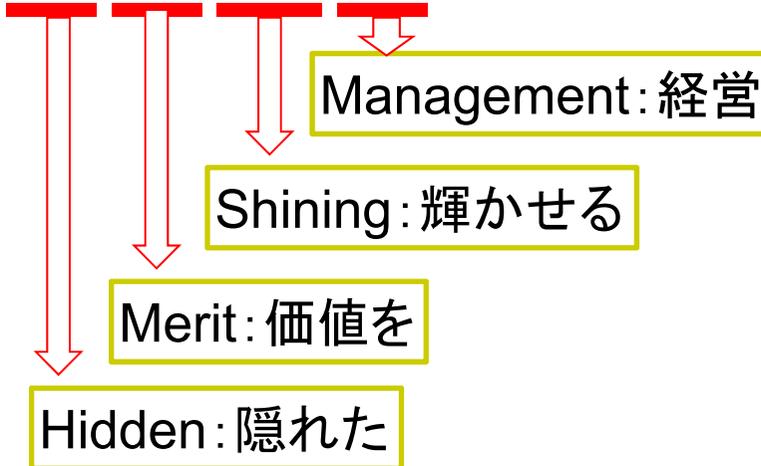
観光振興による産業の発展と雇用の創出

### ③ 環境

エネルギーの地産地消で地球温暖化を防止

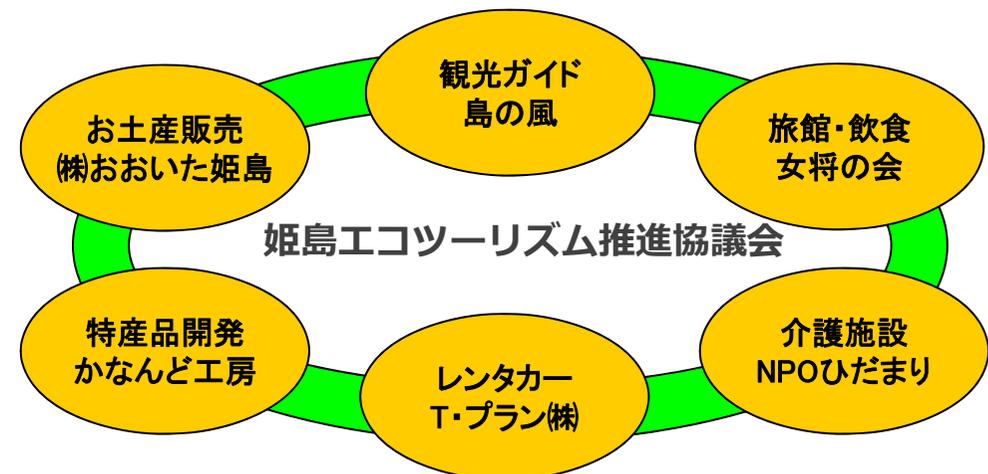
地域コンセプト『ひめしまモデル』

## Himeshima・Model



## ■ 実施体制

姫島エコツーリズム推進協議会は地域の民間団体で構成し事業を実施。



# 姫島エコツーリズム推進協議会の沿革

- 2014年 6月 姫島の環境保全と観光振興を目的に、姫島エコツーリズム推進協議会を設立
- 2015年 4月 1人乗り電気自動車（コムス：トヨタ製）3台、2人乗り電気自動車（NMC：日産製）7台を導入し、観光周遊レンタカー事業を開始
- 2016年 7月 4人乗り電気自動車（ランドカー：ヤマハ製）を1台を借用し、グリーンスローモビリティの実証実験を2年間開始する
- 2018年 7月 4人乗り電気自動車（ランドカー：ヤマハ製）を3台と7人乗り電気自動車を1台導入



# ①社会：高齢者のQuality of Life (QOL) 向上

## ■ 高齢者のひきこもりや認知症の予防に向けた外出機会の創出

自宅での介護者や施設に入居している高齢者は歩行での行動範囲が限られているため、外出支援が課題であった。グリーンスローモビリティを活用することで、レクリエーションの要素もあり、地域の人とふれあい、会話や握手をしたりと施設内では体験できない喜びや楽しみがあり、住み慣れた地域で長く安心して暮らせる。

この取組みが高齢者の**Quality of Life (QOL) 向上**になり、元気を創り出す活動となっている。また、車両の乗り降りのしやすさや、速度が低速なため安全で、自宅での介護従事者は外出支援サービスを利用している間は自身のリフレッシュの時間を確保でき、介護疲れの解消にもつながる。

地域の人とのふれあい



友達とゲートボール場で久々の再会



## ②経済：観光振興による雇用の創出と産業の振興

### ■ 島に合った2次交通の整備

姫島の自然環境を守りながら、歴史や文化を学んだガイドが歩行での行動範囲に限られる高齢者や子供連れファミリー、外国人観光客などを島の観光スポットへ案内し説明する。安全で開放的なグリーンスローモビリティで、ゆっくり流れる景観や、潮の香りや海の風を感じる付加価値の高いツーリズムを提供する。



### ■ 雇用の創出

Iターンの女性社員を1名採用  
地元の主婦をパートタイマーとして4名雇用

### 観光周遊マップ（全長18Km）



### ■ 事業収益

#### 1. 観光ガイド周遊（2時間コース）

観光ガイド周遊料：11,000円／4人乗り  
（ガイド：3,000円, レンタカー：8,000円）

観光ガイド周遊料：15,000円／7人乗り  
（ガイド：5,000円, レンタカー：10,000円）

#### 2. 観光レンタカー（時間貸し）

1人乗りレンタカー料：2,000円／時間

2人乗りレンタカー料：3,000円／時間

4人乗りレンタカー料：4,000円／時間

7人乗りレンタカー料：5,000円／時間

# ③環境：エネルギーの地産地消で地球温暖化を防止

## ■エネルギーの地産地消（スマートシティ）の実現

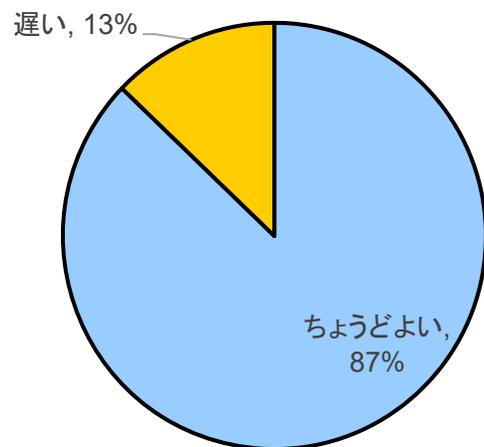
自然エネルギー蓄電システム「青空コンセント」によるエネルギーの自給自足

- 自然エネルギーで電気自動車充電による低炭素交通の実現（ゼロ・エミッション）
- 温室効果ガス削減による低炭素社会への構築
- 非常時に有効な独立型電源と電気自動車

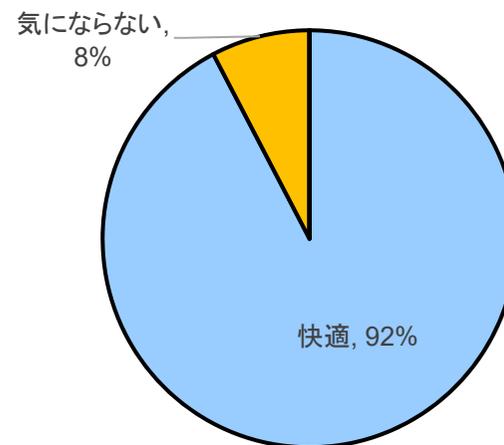


# 観光利活用のアンケート集計

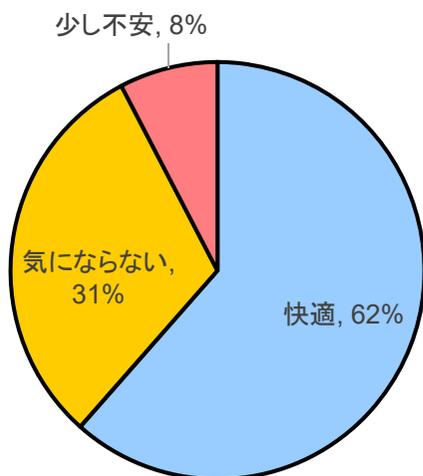
1. ゴルフカーのスピード(最高速19km/h)は、  
姫島の中ではどのように感じられましたか？



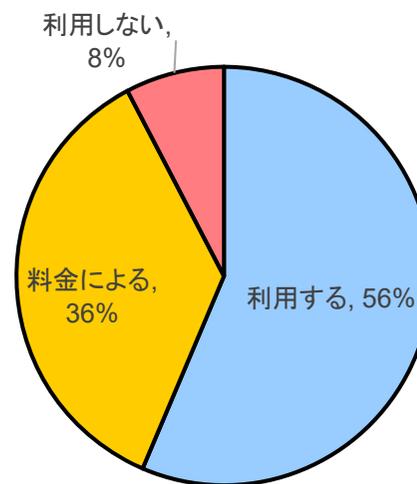
2. 乗り心地はいかがでしたか？



3. ドアやシートベルトの無いクルマ  
での走行はいかがでしたか？



4. 日常の暮らしの中にゴルフカーのような「チョイ  
乗り移動サービス」があったら、利用されますか？



# グリーンスローモビリティを活用して頂いた皆様の声

## 福祉利用

### ■ 高齢者

- ・ すごく楽しい散歩が出来ました。みんなに出会えて嬉しかった。
- ・ 風が気持ちよく快適なおでかけでした、長生きしてよかった。

### ■ 介護施設

- ・ とてもいいドライブというより散歩が出来て、皆さん珍しい車で外出できたことを喜んでいました。認知症の高齢者が同級生を覚えていることに感動したし、認知症予防にも効果的と思われるので、また、計画させてほしい。

## 観光利用

### ■ 観光客

- ・ 地元の歩行者や釣り人とコミュニケーションを取りやすくて良い。
- ・ 海辺を走るとき風や海の音が聞こえ、トンネルを抜けるのも面白く新鮮でした。

### ■ 観光ガイド

- ・ 姫島のことを詳しく説明でき、お客様と楽しく会話が出来た。
- ・ 走行時は静かで排気ガスも出ないので、姫島に優しい乗り物と思う。

# 低炭素杯2019で環境大臣賞グランプリを受賞



※2019年2月8日  
 ※応募総数 全国1,425団体

2019年(平成31年)2月9日 土曜日

## 姫島エコツーリズム推進協が県内初 低炭素杯グランプリ

### 超小型EV活用で

地球温暖化防止活動の日本一を決める低炭素杯2019が8日、川崎市であり、姫島村の姫島エコツーリズム推進協議会(会下満会)が最高の環境大臣賞グランプリに選ばれた。超小型電気自動車(EV)による二酸化炭素削減の取り組みが評価され、出場28団体の頂点に立った。県内出場者のグランプリ受賞は初めて。同協議会は「姫島の活性化を目標に進めてきた取り組みが認められた」とは、全国の離島や中山間地などにも効果を与えたいと喜んでいる。

#### 地域密着、持続性を評価

地域や団体の特性に応じ、業・団体でつくる実行委員だ。同協議会は「『エコアイランド』と『地域活性化』を旨とした超小型EVの活用をテーマに発表。4分

問のステージで▽観光客や島民のEV貸し出し▽青パバイア栽培による二酸化炭素の吸収▽太陽光発電によるエネルギーの地産地消などの事業を写真や動画を使った分かりやすく説明した。

実行委員会によると、地域に密着した取り組みであることや、今後の発展、継続性が見込まれることなどが評価ポイントとなった。同協議会の佐藤篤司事務局長は「地域や行政の力を課題を抱える地域に展開

借りながら、地道に続けてい、持続可能な地域社会の実現につなげたい」と話している。

(衣笠由布妃)

「低炭素杯2019」で環境大臣賞グランプリを受賞した姫島村の「姫島エコツーリズム推進協議会」のメンバーら＝8日午後、川崎市

ご清聴ありがとうございました

